

南 翔



秋田県立秋田南高等学校同窓会会報

「南 翔」 第54号

題字揮毫

鈴木 義信 氏(4期・東京支部 書道家)



写真提供 柳岩田写真
岩田 幸久(21期生)

母校創立50周年に同窓会の力を!

創立50周年記念事業実行委員会

会 長 鈴木 力雄(5期生)



以前機会があって、ある機関誌の文芸コラムに新公民館理論「幻想的序論」を掲載しました。そこに余談として述べたことの再掲をお許し願います。

一秋田の教育を語るとき小畑勇二郎なくして語れないと思っています。特に青少年教育においては…。

県立高等学校長の任命・指名に見る青少年教育への情熱は感動ものです。

昭和37年創立の秋田南高等学校初代校長に秋田北高校長信太四郎を起用。今で言えば定年を1年延長してまでも起用であった。

昭和38年、文部省を退任し民間に身を置いていた鈴木健次郎氏を秋田高等学校長に起用した。

この二人の教育理念は誠に高尚で生徒に対する思い、教師へ求めた指導姿勢も共通していた。

信太校長は、生徒に福沢諭吉の「学問のすすめ」から「独立自尊」を説き自ら足を運び集めた教師には指導方針として「青年の夢を育てる」姿勢を求めた。

鈴木校長は、生徒に「汝何のためにそこにありや」と自覚を促し、教師へは「青少年指導は青少年の足を洗うこと」と説いた。

鈴木校長は秋田高校中興の祖として、信太校長は南高校の偉大な創設者として今も語り継がれている。ここに小畑勇二郎の偉さを感じている一人です。—

私は、平成24年度に迫っている母校創立50周年記念を考えると、どうしても次の創立100周年に向けて、南高校はどうあるべきかを考える必要があると思っています。そんな折、岸信夫先生からこんな話を聞きました。「あまり知られていないことだが、信太四郎校長は南高校を研究者が育つ学校に、学者でも政治家でもなく研究者を育てる学校にしたいという夢を持っていた」と言います。

私は、信太四郎校長のもう一つの夢を聞いて、ここに南高校の建学精神の全貌を垣間見たような気がし、創立100周年に向かう南高校の将来像を創るキーワードは「独立自尊」、「青年の夢を育てる」、「研究者が育つ」への原点回帰ではないかと考えています。

50年という時間が経てば、どこか錆びついたり、摩耗したりしているかもしれない建学の精神を現代に合わせてブラッシュアップし、在校生一人一人の個性を磨き、時には個人個人の個性をクラスター化して、社会を輝かすそんな南高校になって欲しいと思うのです。

さて、4年前に米田前校長が赴任してきたときに二人で、創立50周年までに進学実績では難関大学合格者の増と「東京大学」合格者数の定着、部活動では「野球部の甲子園出場」、「剣道の全国制覇」、「吹奏楽部の普門館での金賞」を果たそうと、こんな話をしていました。あと2年、この目標がどこまで果たせるか大いに期待しています。

南高校創立50周年は、南高校創設期の私たちの世代にとって100周年と同じ意味合いをもつと思っています。ですから、記念事業にはその思いを込めて臨み、在校生とまだ見ぬ未来の在校生にも、さらに卒業生にも夢を与え、夢を繋ぐ事業を是非実行したいものです。

記念事業については現在、実行委員会記念事業部会で夢のある事業の企画検討をしているところです。例えば、校訓「独立自尊」記念碑建立、野球・サッカー・ラグビー・陸上競技のナイター設備、50周年記念曲制作、記念絵画制作、吹奏楽部の特別記念演奏会等々が候補に挙がっています。

これまでも母校の各周年記念事業には、同窓会が大きな力を発揮してきたことは言うまでもありません。創立50周年記念事業を母校の未来に卒業生が恩返しする意味をも含めた事業とするため、同窓会のより堅固な結束と同窓生の一人一人のご理解とご協力を切望しています。

書のすすめ



鈴木 義信 (4期生)

前号から表題「南翔」をお願いしている東京支部、4期の書道家 鈴木義信氏からコメントをいただいております。

私は秋田生まれで秋田育ち、聖霊学園近くに住んでおりました。生まれつき左利きでしたが、小学校入学のころから右手での生活をと、家庭でも指導されました。馴れない右で書く字は、まるで蛇がはったような字でしたので、親からは否応無しに、近くの書道教室に通わされました。これが私の書道との出会いでした。中学時代は近くの考華学書院、いわゆる昭和20人展書道の一人である柳田泰雲先生が主宰してる書道教室に通いました。30人くらいの生徒がいる教室でしたが、はじめは線を引く、墨を付けて筆で書く、自分の気持ちを表現できる事に感激しました。この教室では楷書・行書・草書・隸書の4書体を主に習いました。そして、毎月の発表会、年に何回かの展覧会、書道の本に自分の名前が載るだけで感激しておりました。

秋田南高校に入学し、谷藤先生の指導のもと、隸書をひたすらに勉強してました。私たちの同期の仲間は5人おりましたが、この自分が還暦を過ぎていまだに書道を続けるなどとは思いませんでした。

東京の大学に進学し、体育会系を夢見てバドミントン部に入部するも、やはりその間も、書道の夢は捨てきれず、いろんな展覧会には顔を出し続けました。卒業後も仕事には追われましたが、書道大学に通いながら、本格的に書道の道に取り組むようになりました。道具の研究にも熱が入り、年に一度は仲間たちと書道の4つの必需品である筆、紙、硯、墨などの生産現場を訪ねたりするようになりました。そのうちに書くことから字を木や石に刻することを学びました。字の表現には流れがあり、一般的な字が「楷書」、これをくずしたのが「行書」、それを更にくずしているのが「草書」、楷書の前の字が横に長い「隸書」、その前が縦にながいの「てん書」となります。この5つが基本ですが、骨に刻する甲骨文字、青銅に刻した金文、小学校

から始めたこの書道が、これほど奥行きがあり歴史あることに今更ながらびっくりしております。

書道活動をしてると、表札を書いてくれとか、個展をやるので題字を頼むとか、あるいは商品の名前を書いてくれとか、家に飾りたい文言があるので書いてくれ、などいろいろな依頼が来ます。社会の要求に応えることで、少しでも社会貢献ができればと思っております。パソコンではできない一つだけの文字、このマニュアルの世の中で、手作りで世界に一つだけの文字を作り上げることが醍醐味です。書道を上達させる基本は、臨書しかありません。古典のものを、毎日くりかえして書いて練習をする、これに尽きます。

還暦をむかえて、記念にということで地元で個展を開きました。楷書、隸書、てん書、刻字、てん刻など50点ほどを出展しました。私がいつも思うことは、趣味には定年がないし、その趣味が自分と共に生きているということです。そしてなにより、仲間ができて、お互いに夢中なことを生涯できるということです。

今私は、書道の普及活動をどうすればいいかということ企画しております。一般的な書道教室でなく、「てん刻」もその一つです。日常生活になんとかあるが気が付かないこと、字はへたでいいのです。石に字を刻する「てん書」で、自分なりに表現できます。自分で字を書くこと、石に字を刻すること、葉書や文章のあとに自分で製作したハンを押すこと、歴史あるこの「てん刻」に参加することで、なじみのない書道展でも古代の展覧会も異なる角度からみることが出来ます。

好きなことにのめり込み生涯夢中になれること、それに私は縁があり出あうことが出来ました。朝起きて字を書いて石に刻する、それこそあっという間に1日が終わります。

私は左手で書くことを、強制的に直して右手で書いていましたが、高校時代からは左と右と両方で字を書いてました。そして最近では、書道は左、日常生活は右というように自分で使い分けております。

出会い、縁、これは自分から意識してあることでなく、自然な出会い、それが縁であり、それを大事に育てるのが自分自身なのです。

秋田南高校同窓会のご発展を心より祈念しております。



個展にて

スナック

for you

女性定席8名
同窓の方サービスします。

ママ 小玉 章子
7期H組卒

秋田市大町五丁目3-24 サンピアザ横町1F
TEL (018) 866-6466

2010年10月
OPEN!

Welcome
104
snack

毎日が同窓会♪

皆様が集い、楽しく過せるお店です。
明朗会計ですので、お気軽にお越しください。

豊嶋 孝吉 (9期卒)

秋田市大町五丁目4-27
第一会館本館右隣 金忠ビル1F
TEL 018-866-2290

磯の香りにしあわせのせで
天下一品 高岡屋の味

株式会社 高岡屋 秋田店

専務取締役 及川 正

第23期G組卒

秋田市外旭川三千刈149-1
TEL 018(862)3711(代)
FAX 018(862)3740

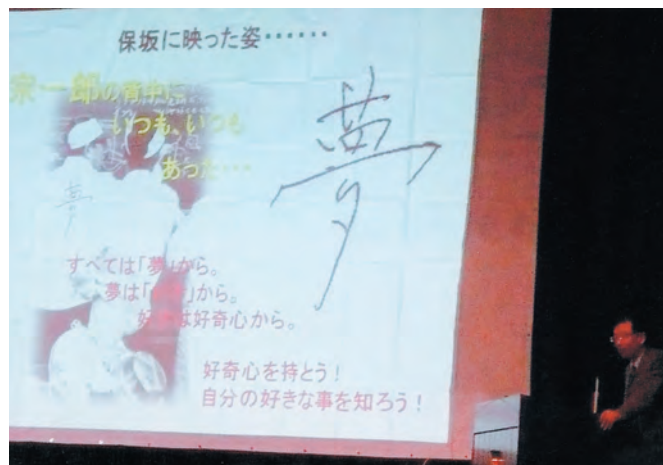
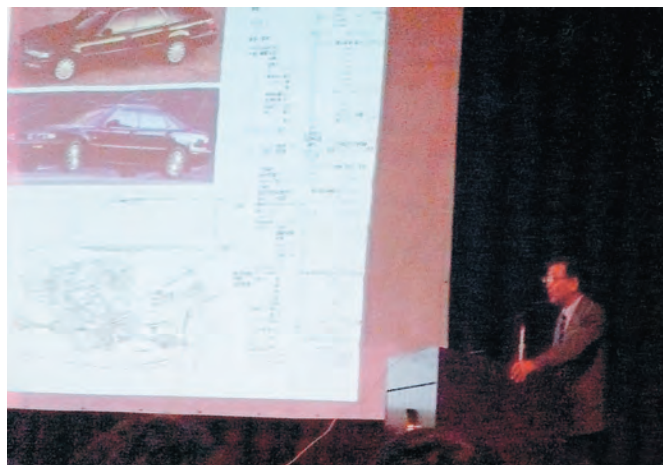
第2回 OB講演会

～保坂武文氏(4期生)～



第2回OB講演会が、平成22年10月25日、東京南翔会会長の保坂武文氏を講師として、秋田南高校体育館で行われました。保坂氏は本田技術研究所元常務取締役、東洋電装元代表取締役副社長などの経歴を持ち、元ホンダF1プロジェクトのリーダーを務められた経験から、「自動車開発人生を通して21世紀を担う後輩の皆さんへ」と題して、生徒たちに約1時間にわたって熱心に語りました。

講演は「自己紹介・自動車開発に携わって」「レーシングマシン開発の舞台裏から」「秋田南高校の皆様に伝えたいこと」の3部構成で、スクリーンに車やF1レースの映像などを映し出しながら、自動車開発に携わることになった経緯やレーシングマシンの開発の難しさや面白さを語りました。また、夢を持ち、それに向けて努力することの大切さを強く訴えました。



「F1の1チームは600人～700人。いくつものチームが協力して1つのものを作り上げていく。」「夢を持つことが大事。本田宗一郎の背中にいつもあったのも

『夢』。すべては夢から。ひとりひとり持っている能力は違う。好奇心を持ち、自分の好きなことを知ろう。」と語りかけ、「学生時代は人生の基礎を学ぶ時期。幅広い一般教養と専門知識が必要だ。世の中の動きを知り、経済問題や流行など専門以外のことにも関心を持ってほしい。英語などの語学も大事。世界に出るならスペイン語、アジアなら中国語も必要。今学んでいる基礎を大切にしてほしい。学びに終わりはない。」と、生徒たちを激励しました。

講演を終えた保坂氏には惜しめない拍手が送られ、「自分も好きなことを見つけて、高い目標をもって頑張りたいと思う。」「今の高校生活を大切にして、人間としての基礎を身につけ、世界に羽ばたいていきたい。」という感想が数多く寄せられました。先輩の力強い言葉が後輩への大きな励みとなったようです。

(文責 高久教諭)

秋田諸越粉 菓子種一式 そば粉製造元

株式会社 畠山製粉所

代表取締役 畠山 佳男

第19期F組卒

〒010-0942 秋田市川尻大川町12-58
電話 018(862)4858・FAX 018(862)8717
E-mail seifun@cna.ne.jp

kosharu&Mise

Hand Made Jewelry Shinoda

代表 篠田 大祐 (26期)

こしやる店 篠田宝飾

〒010-0911
秋田市保戸野すわ町8-12
TEL: 018-823-8081
営業時間: 9:30～19:00
(土日17:30まで) 日曜定休

こしやる店 検索

レーザ切断加工・総合金属板金加工

有限会社 アキラ製作所

代表取締役 林 勇一

第24期C組卒

〒010-1941
秋田市川尻町字大川反170-34 秋田市工業団地(協)内
TEL: (018) 823-2432 FAX: (018) 864-4264
URL: http://www.akira-ss.co.jp/ E-mail: info@akira-ss.co.jp



活躍するOB

スズ キ ミツヒト
鈴木光飛斗氏 (39期H組)

今回は、サッカー部OBで、現在は東北社会人サッカー1部リーグで活躍しながら、母校サッカー部のコーチをしている、鈴木光飛斗さんにスポットをあててみました。

Q 現在の活動を教えてください。

A 現在秋田市を拠点とした「秋田FCカンピアーレ」というチームに所属しています。ポジションはディフェンダーです(DF・守備的ポジション)。皆さんご存じの「秋田ブラウブリッツ」はJFLに所属し、秋田のトップチームですが(JFLはJリーグに次ぐ社会人トップリーグです)、「秋田FCカンピアーレ」は、そのJFLに次ぐ社会人1部リーグに所属しています。

二つのチームが共に力を合わせ、「秋田からJリーグを!!」を目指しています。もう一つは、「NPO法人あきたスポーツネットワーク」に所属し、秋田市内のスポ少やジュニアチーム、南高サッカー部にコーチングを行っています。

Q 南高校のサッカー部についてどんな印象ですか？

A 現在は週3回コーチングに行っていますが、選手個々の能力は高いと思います。基本的な技術は皆身につけていますね。



ただし、フィジカル面(精神的)が弱く、選手同士のコミュニケーション能力や戦術的なところがまだ不十分で、宿敵「秋田商業」を倒すにはまだ力不足です。

ただ、あと少しのレベルアップで、十分全国選手権に出られるチームになりますので、今後に期待しています。学校創

立50周年には国立競技場で、南高サッカー部の勇姿が見られるはずです。

Q 高校時代はどんな生徒でしたか？

A 部活動メインでサッカー漬けの毎日でした。2年生の秋の新人戦では、全県優勝しました。勉強は理系で、物理、数学が得意でした。特に物理では学年トップ成績を収めたことがあります。エピソードとしては、3年生の時大学受験センター試験の一週間前にもかかわらず、クラスメート10名くらいで、図書館に行き「タイムマシーン」の研究をしていました。無事に受験は合格しましたが・・・



Q 今までのサッカーとの関わりは？

A 岩手大学では、教育学部でスポーツ、生涯教育を専攻していました。サッカー部に所属し、天皇杯岩手大会で優勝しました。卒論には「ヘディング」を選びマニアックな研究をしてました。今でもそれが活かれています。その後岩手の社会人チームに2年間所属し、群馬のチームを経て、秋田に戻りました。

Q 将来の夢を教えてください。

A まずは、秋田からJリーグのチームを出したいです。バスケットに負けてはいられません。また秋田の子供達にプロを目指す環境を作ってあげてお手伝いが出来れば良いと考えてます。またスポーツを通して生涯教育や地域貢献等にも積極的に関わって、秋田を元気にしたいです。今後の同窓生の皆さんのご協力をお願いします。

最後に私の活動や「秋田FCカンピアーレ」の活動はHPを見て下さい。

「カンピアーレ」で検索！

若干25歳の若者の目には、将来の夢に向かってまっすぐに進んでいく光が見えました。同窓生の皆さんも鈴木光飛斗さんを応援し、母校サッカー部、秋田のサッカーを盛り上げて、元気な秋田を復活させましょう！

19期 清水毅彦

成人記念 婚礼記念 入学記念 卒業記念
百日祝い お宮参り 七五三 還暦 家族写真
各種レンタル衣装も取り揃えています。
(成人振袖、七五三など)

写真には毎日を「幸せ」にする不思議な力があるんです

岩田写真
代表取締役社長 岩田幸久 第21期B組卒

<http://www.iwataphoto.tv/>

中通本店/秋田市大通1-3-30 ☎0120-24-5015
こども写真館
イワタフォトスマイリー山王店/秋田市山王新町1-19 ☎0120-24-5026
イワタフォトスマイリー御所野店/秋田市御所野下堤2-1-13 ☎0120-24-5025

総合お問い合わせ先 ☎0120-24-5015 毎週水曜定休

高精度、高強度、高耐久
スチロフルホーム

ふれあう心で家づくり
株式会社 吉兆ホーム

代表取締役 吉田一生 (13・F)

秋田市泉北3丁目4-5
TEL (018) 866-9280
FAX (018) 866-9316

～秋田駅とともに100余年～

株式会社 関根屋

代表取締役 金子達也
25期J組卒

秋田市東通一丁目1番26号
☎018-833-6461 FAX018-831-4062

母校だより



運動部活動

全県新人戦

陸上

男子 400MH 4位 鈴木 涼(東北大会出場)
女子 個人七種競技 3位 今野 知佳(東北大会出場)

アーチェリー

男子個人 1位 石田 涼 2位 伊藤 将熙
3位 福田 慶生
女子個人 1位 谷貝 里奈 2位 佐竹 咲希
3位 佐藤優美子

水泳

男子 400M個人メドレー 3位 佐藤 徳彦
400M自由形 4位 佐藤 公哉
女子 100M自由形 2位 井上 未来
4位 後藤 早葵
200M自由形 2位 井上 未来
総合 3位

剣道

男子 団体 2位
個人 1位 小林 中
2位 藤田裕太郎

フェンシング

男子 個人フルール 1位 仙葉 恭輔

バスケットボール

男子 3位

ソフトテニス

男子団体 2回戦敗退(1-2角館高)
ペア 2回戦敗退 草薙・菊池(全県インドア出場)

ハンドボール

男子 ベスト4(3位決定戦 18-25横手高)

東北高校ハンドボール選抜大会県予選

男子 3位(8-39湯沢高)

東北高校アーチェリー選抜大会

男子 団体 決勝2回戦敗退

女子 団体 決勝2回戦敗退

全国高等学校選抜剣道大会 秋田県予選会

男子 団体 優勝(全国高校選抜大会出場)

女子 団体 準優勝

全国高校サッカー選手権大会秋田県予選

3位(準決勝:1-3秋田商)

全国高校選抜バスケットボール県予選

男子 2位(50-85能代工/64-54秋田西)

全日本高校バレーボール選手権大会県予選

男子 3位

文化部活動

吹奏楽部

第58回全日本吹奏楽コンクール

銀賞

書道部

第28回全県席書大会

1年の部 1等 佐藤麻理恵
2等 柴橋 知里 大友 美鈴
加藤 深美

3年の部 1等 高橋さゆり 保坂亜利沙
進藤智恵子

2等 猿田 萌

秋田県高校文化祭美術展

推奨 保坂亜利沙

進藤智恵子

佐藤麻理恵

美術部

秋田県高校文化祭美術展

推奨 志賀 果歩

田口 静

文芸部

県文芸作品コンクール

文芸誌部門 第二席

短歌部門 第三席

佳作 小池静里乃

土田早津紀

渡辺 萌子

写真部

秋田県高校文化祭美術展

推奨 深浦 果純

鈴木 文

尾形俊太郎

第30回秋田県高等学校写真連盟展

佳作 田口 準

佐藤 耕平

生物部

日本学生科学賞秋田県審査会

読売新聞社賞

日本進化学会 2010年大会

最優秀賞

日本生物教育学会第90回全国大会

優秀賞

全国高等学校総合体育大会秋田市開催協議ポスター、

プログラム図案募集

最優秀賞 佐藤香穂里

渡部 綾乃

青少年読書感想文秋田県コンクール

特選 石川 愉理

秋田県ごはん食推進啓発ポスターコンクール

最優秀賞 佐藤香穂里



(財)小原流

秋田支部創立55周年
青年部設立20周年記念花展

4月16日(土)、17日(日)

県立美術館

一級家元教授 速水 整子

2期C組卒

秋田市手形からみでん3-67

☎018-832-1531

企業経営のパートナー

川村行政書士事務所

所長 川村 良喜

第4期A組卒

秋田市泉中央六丁目5番18号

シャロム泉1F

TEL 824-8171 FAX 865-5383

税務のご相談は……

宇佐見康伸税理士事務所

税理士 宇佐見 康伸(4・A)

事務所/秋田市中通五丁目6-33

☎018-832-8045

斎藤實則先生を偲んで

武藤 憲一(2期C組)

平成22年8月27日、恩師である斎藤實則先生が享年78歳で天国に召された。キリスト教の信者であられた先生のご葬儀は、福音書の朗読や賛美歌が流れる中、先生のお人柄が偲ばれる厳かなものであった。顧問を務めていたソフトボール部のOGの方々も参列されていた。

斎藤先生は昭和8年湯沢市に生まれ、昭和31年に秋田大学を卒業。湯沢北高校へ勤務のあと新設の秋田南高校に昭和37年から45年まで勤務された。

私は斎藤先生の勧めで、使用していた地理の教科書の執筆者であった青野寿郎博士(後の日本地理学会会長)、尾留川正平博士が勤務しておられた立正大学地理学科へ進学し、教員となってから本格的に斎藤先生からご指導をいただいた。その後、約40年間の長きにわたる交際となった。斎藤先生は若輩者の私に、いつも対等の仲間として接してくれた。無理難題を私が持ちかけても、諄々と諭すように丁寧に話されたあの語り

口は忘れることができない。

昭和50年、私は大曲工業高校へ転勤したがその時、斎藤先生を中心に結成された高校地理教師の研究グループ「秋田県地域開発研究会」に入会のお誘いを受け、それ以来私の地理学の学びが始まった。月に一度の勉強会は、新任校、子供の誕生等公私ともに忙しい日々だったが充実したものであった。機関誌「横手盆地の研究」に数本の論文を掲載させていただいた。指導は厳しく、自分で良かれと思った内容でも、用語の使い方や表現を始め引用文献に至るまで細かく教えていただいた。それは全国の学会で発表できる内容であれということであったと思う。自分の著作物は惜しげもなく私たちに提供し、執筆した原稿料は私たちの研究に還元してくれた。昭和55年には現職教諭としては異例の東北大学から理学博士号を授与された。県教育センター所長を最後に退職し、その後は聖霊女子短期大学の教授として勤務された。平成15年に瑞宝小綬章を叙勲され、長年にわたる先生の研究が報いられた。その後体調を崩され心配をしていた。

秋田県地域開発研究会はその後「秋田県地誌研究会」として活動が続いている。斎藤先生のご遺志をこのあと若い先生方へ受け継いでいきたい。



年の初め、母校吹奏楽部のニューイヤークンサートを聴きに行ってきました。全日本吹奏楽コンクール3年連続出場と、昨年10月銀賞受賞を記念しての演奏会でした。しかも、日本トランペット界の重鎮数原晋氏を招いて、実に堂々とはつらつとした演奏で、感動と誇らしくもありました。

嬉しい話をもう一つ。昨年12月、秋田さきがけ新聞に載ったビックニュースです。21期卒の探検家高橋大輔氏が、1月中旬から50日ほどキャプテン・クックの足跡を追う旅に出ます。ドイツのカメラメーカーのライカが、マルコ・ポーロやマゼラン、アムンゼンなど歴史的な10人の探検家の旅を追体験する撮影旅行企画を募集して、10人の公募に世界から980件の応募があり、日本人でただ一人選ばれたということです。追体験とはいえ、大自然、大海原を相手ですから厳しい旅だと思えます。彼の著書「間宮林蔵・探検家一代」を読みました。厳冬のサハリン(樺太)で最新の文明の利器をもってしても、ご自身も命がけで取材・追体験だったことがわかります。いずれにせよ、当時の風景画と現代の風景との対照も試みられ、10人の旅が同時に進

行するということです。わくわくしますね。無事の帰朝と報告を楽しみにしています。

来年は我が母校も創立50周年を迎えます。昨年11月に実行委員会が一堂に会しました。PTA・教育振興会・学校・同窓会の各機関から、記念式典や記念誌など4つの部署に配置され、我が会報部会からは12名が記念誌担当となりました。その1か月後(12月11日)、30年もの長きに渡り会報部会で活躍、貢献されてきた4期の大友幾雄氏が急病のためご逝去されました。母校50周年記念誌に今まで培ってきたお力を発揮していただく矢先の悲報です。会報の編集会議では仕事がどんなに忙しくても必ず出席され、編集は元より特に広告や写真部門では頼りっぱなしでした。今でも「ヨッ、まいど! 頑張っているか!」と優しく声をかけてくれた明るい笑顔が目に見えます。残された部員、氏の意志を継いでまいります。どうか安らかに眠り下さい。

合 掌

2期 保坂 タツ子

同窓会
事務局

〒010-1437 秋田市仁井田緑町4の1
秋田県立秋田南高校内
電話 018-833-7431

渡辺博人社会保険 労務士事務所

社会保険労務士 渡辺 博人(12・F)

秋田市桜ガ丘二丁目4番9号
TEL 018-831-5280
FAX 018-831-5287



ソフトウェアの受託開発
ホームページ作成

株式会社 エイチ・アイ・ティ
Human Interface Technology

代表取締役 川合 俊昭 5期E組卒
システム部長 安部 雅彦 21期D組卒
システム部課長 藤井 宗則 22期H組卒
システム部 瀬川 邦好 23期G組卒
〒010-1623 秋田市新屋町砂奴寄4-11
秋田県工業技術センター内
TEL 018-895-5515 FAX 018-895-5516

今時代は電子書籍

iPad/iPhone用書籍アプリ制作・販売代行

株式会社 くまがハ印刷

代表取締役 熊谷 正司(4・A)

秋田市中通六丁目4-21
☎018(833)2220(代) FAX(833)6732